

第3回 植水小学校・植水中学校 学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和8年2月4日(水) 10:00~12:00
- 2 場 所 植水中学校 多目的室
- 3 参加者 略
- 4 内 容
- 1 中学校長あいさつ
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事の検討
 - (1) 本年度の学校自己評価の達成状況と次年度への課題と改善策について(報告)
 - ① 植水小学校
 - ② 植水中学校
 - 4 熟議 本年度の学校運営協議会の成果と課題・来年度に向けた検討事項について
 - 5 意見交換
 - 6 諸連絡
 - ① 学校運営協議会委員アンケート調査について
 - ② コミュニティ・スクール通信について
 - ③ 来年度の日程について
 - ④ 卒業式の御案内
 - ⑤ 評価について
 - 7 小学校長あいさつ
- 5 熟議の内容 「本年度の学校運営協議会の成果と課題・来年度に向けた検討事項について」
質問意見等(○委員より ●学校より)

●本年度の学校運営協議会は、今回が最後となる。以前10月に行われた学校運営協議会後に、あいさつ運動について各校や団体での新たな取組等があれば共有したい。

○高校では、11月の全校集会で、地元の生徒会児童会が協力して、このようなスローガンを作って、このような取組をしているということを、全校集会の校長講話の中で紹介した。今後協力ができることを高校生としても、地元の高校としても取り組んでいこうと直接説明した。また、職員会議で全職員にも説明をした。できることがあれば、生徒会中心に協力していきたいと考えている。

●他に意見はあるか。

○本校でも、子供達が考えたスローガンを児童会の子どもたちが、学校全体に周知することを朝会の中で行った。その後、挨拶運動を展開し始めている。また、先月の講話朝会の方で、私の方からも挨拶の大切さについて改めて話をした。本日、二月の委員会活動が行われるが、子どもたちが考えてきた挨拶運動の取組がどうであったかという振り返りを子どもたちと行い、まだ十分でないところについて、今後の取り組みを考えていこうという予定となっている。

- 中学校においては、学校だよりでスローガンを周知したり発表したり、生徒会の生徒から終業式にスローガンを作成したことを紹介した。また、新生徒会役員や各委員会で、現在放課後に挨拶運動をしている。本日の学校運営協議会のために、生徒会が動画を撮影したのでご覧いただきたい。

～動画視聴～スローガンの紹介と、今後地域にスローガンを広げて行くためのアイデアをいただきたいという内容

「本年度の成果は、「地域の子どもたちに身に付けさせたい力」について協議を重ね、挨拶あふれる植水地区の実現に向けて、学校・家庭・地域それぞれの現状と役割を共有した。そのうえで、地域全体で取り組むためのあいさつ運動のスローガンを決定できたことが大きな成果である。

一方、課題は、決定したスローガンをどのように周知し、広く広報していくかという点である。今後は、校内だけでなく、地域の各団体とも連携しながら周知・広報を進め、植水地区全体に挨拶の文化を浸透させていきたい。」

そこで、来年度に向けて、スローガンの広報・普及の方策について、本協議会において皆様からご意見を賜りたいと考えている。

- 今動画を見ていただいたが、高校生の運営協議会では、生徒会のメンバー（生徒）も一緒に入っている。来年度は、授業の計画を調整しながら、本日は動画での説明であったが、来年は生徒がここに来て、子どもが主体で、やはりそこからどうしたらよいか、子どもの目線での意見を発信させていただきながら、熟議を進めていけたらと考えている。今回は調整がうまくいかず動画であったが、そういうイメージで作成した。子どもの方からも、今年度、高校と生徒会も交流をさせていただいて、高校両校でも交流を行っており、小中学校でも交流を行っている。そうすると、4校の子どもたちで話をして、どうことができるか、こういうことができるのではないかと、というような子どもからの提案もできるのではないかと考えた。そこで今度は、幼稚園さんに職業体験でお世話になった時のように、生徒たちが幼稚園で何かあいさつ運動をする等もできるのではないかと。そのような意見が、子どもたちからもすでに出ている。是非とも、こういうこともできるのではないかと意見というのをを出していただき、活動を広げて行けるといいなと思っている。本協議会で出た意見を子どもに返して、どうやって行うことができるか考え、みなさまにご意見をいただければと思う。

- 他に意見等あるか。

- とてもよいと思う。明確に子どもと大人の境目っていうのがあるわけではない。徐々に社会というものを実感して、だんだん大人になっていくのだと思う。その中で、学校を運営するとか学校という場で、生徒は受け身で、教員とか大人が与えるっていう形に完全に分かれているものではないと思う。社会の一員としての自覚を徐々に発揮してくためにも、このような場に、生徒が参加するというのは、とても賛成である。あいさつもよいと思うが、例えば交通安全とか、エージェンシーというお話もあったが、子どもたちが主体的に考えて、学校としての方針じゃなくても、それぞれの子どもが考えて動ける機会になり、更に広がっていくとよい。

- 他に意見はあるか。

- （職業体験に参加した生徒のエピソードの紹介）生徒たちは主体的に職業体験を行っており、とても感銘を受けた。更に、子どもたちからゲームの提案等、職員が提案したわけではないのに、自らということができていた。

- 学校の中では知ることができないことを教えていただきありがたい。他に意見はあるか。

○提案になると思う。来年度は、学校運営協議会に生徒さんを入れる。そして、他校の事例であるが、土曜授業の日に開催して、生徒から成果を発表してもらおう。あと、4～5人の小グループで、大人と生徒さんが入り混じってディスカッションやワークショップを行い、その中で例えば、今出ているあいさつ運動を地域全体に広げていくためにどうしたら良いなどのテーマのグループがある。あるいは、交流の工夫や、それぞれの施設で、施設利用者への支援等、生徒主体でできるグループでもよい。生徒の主体性を引き出す仕掛けをやっても面白い。私は今、高校と小中学校をつなぐような役割をしている。両校の高校で様々な活動をしていると思うので、例えば数学の謎解きをする等、市内での事例があり効果もある。検討してみると面白いと思う。

●ご提案や事例の紹介をいただきありがたい。本校は避難所運営訓練に生徒も参加している。

○植水地区では、あいさつ運動を学期の始まりと終わりに1週間行っている。校長先生もよく出てきてあいさつを行っている。じゃんけんや握手をする等、時代が変わったと思った。昔よりも現在のほうがよくあいさつをする様になった。子どもにどのように関わったらよいか悩むところがある。95%ぐらいはあいさつをしてくれている。どのように関わったらよいか小学校の先生に伺いたい。

●校長先生の意見をうかがう。

○いつもありがとうございます。私も、あいさつに関しては、日々朝や下校時に見守ってくださっているボランティアや交通指導員、保護者の方々に、あいさつができないときは、厳しく言う。よく言うのが、感謝しなさいと言う。それも必要だと思うが、それよりも毎日挨拶すること、あいさつをし続けることで、それが感謝に繋がっているのではないかと思っている。

●高校はどうか。

○本校はあいさつがすごくできる。小学校・中学校・高校で発達の段階が違うので、あいさつも違うと思う。高校の問題として、国語や数学を教えているが、勉強方法を教えないということがある。やはり、学力を上げるためには、学習の方法を教えてあげるのが重要である。あいさつの方法を教えてあげる。昔みたいにあいさつの時の姿勢の角度とかではなく、例えば4校でビデオクリップを作って、高校の部活動で、どんなあいさつをしているのか、小学校でどんなあいさつをしているのかを撮ってみて、ビデオレター等で回して観るのもよいと思う。高校生はこうやってあいさつをしている等、あいさつの方法を見てみるとお互いに刺激になると思う。

●先ほどもご発言いただいたが、高校としてはどうか。

○PR の場として、生徒会の交流を中学校と行っている。その流れでいうと、毎年春先に生徒会が主体になって全校生徒が集まる生徒集会がある。その冒頭で小学校の児童会のメンバーや、中学校の生徒会のメンバーがPRする場面を作っていくというのは、すぐに新年度からできることだと思う。例えば、この運営協議会のことを、高校に来校した方、保護者や生徒に周知するために、文化祭の時に来校者が多いので、1人が1ブースを作って掲示物をつくり周知やお知らせする。PRの方法として、高校が協力できることがあれば協力していく。

●他に意見はあるか。

○私が、朝とか帰りの見守りをしていて、明らかに変わったなっていうことがあり、高校生があいさつをする。今まではほとんどなかったが、本当に変わったと実感している。あと地域の方も、こちらから挨拶を続けていると、挨拶を返してくださる方がいて、この運営協議会の活動の成果が出ていると思っている。高校の校長先生から聞いて納得した。

●このような地域での声を聞けるのは、学校運営協議会が、ありがたい仕組みだなと思う。

続いて幼稚園ではどうか。

- 主体的に自分で考えて挨拶ができるようになるのがよいと思う。中学生の職業体験で、幼稚園に仕事に来ると、中学生は先生と言われる。自ら「おはようございます」と言うことになる。私が先生だからという思いになる。ぜひ幼稚園を利用してほしい。どなたが来ても、先生、先生と言われる。この子供のために見本になればという自覚をもって、あいさつしてくれると思っている
- 社会福祉協議会では、10年ほど前に見守りネットワークで、困ったときはお互いさまという思いでスローガンを作った。一番大事なことは、あいさつは、あなたは大切な人と伝えることが最良の方法だということが基本となる。あいさつの声掛けをして、気づき、そして連絡ということ。今でも地区をまわっていただくと、その時に各自治会で5枚から6枚、あいさつの看板を書いたので、ご覧いただければと思う。地域としても、あいさつは基本の基本だということを了解していたが、今日の議題のところは、どこの小中高も大切だと思いながらも、共通して1つの運動というのは難しいだろう。どこも同じ思いでいるので、これを1つに上手く繋げて、地域全体にどうしていくかと思っている。
- 例えば、社会福祉協議会主催の、ふれあいコンサートの機会をいただいた時に、最初にスローガンを発表する方法があると思う。あいさつは、全員が大切だと考えているが、具体的に、どのように計画したらよいかという段階にきていると思う。他に意見はあるか。
- 本日は、たくさんのご意見ありがとうございました。ぜひまた、子どもの方からもアイデアを出し、それをこのような場でご協力いただき、ご相談させていただきながら進めていく。会長からも話があったように、地域として、あいさつすることは、子どもだけじゃなく、大人も含め、地域に住むみんなで何か盛り上げよう、しっかりやっっていこうという方向性で、来年はまずこのスローガンを主軸に取組について考え、実行していければと思うので、どうぞよろしく願いいたします。
- 他に意見はあるか
(意見なし)
- 最後に会長よりお願いします。
- みなさまから貴重なご意見や、大切なことをお話いただきありがたいが、あいさつの基本は家庭にあると思う。家庭と家庭との人間関係から出て「おはようございます。今日は寒いですね。」と声をかけることによって、人間関係の構築という意味で非常に意味があると思う。今話が出たが、地域を挙げてあいさつの活動をしているのは大変ありがたいことだと思っている。ただ、現在は、本当に家庭と家庭との間、人間関係というものが、どちらかと言うと希薄になっている。そういう中で、家庭内ではどうなのだろう。あいさつができていいのか。お父さん、お母さんに「おはよう」とか「今日は何々ですよ」と、子どもたちが声かけができていいのか。また、お父さんお母さんが、子どもたちにあたたかい言葉をかけているかどうか。これがまず基本だろうと思う。学校とか地域とかの広がりの中で、人間関係を構築していくことが最も大事なのではないかと思う。本協議会の目標として、ありがたいことに(あいさつの取組を)来年も続けていただき、心強く思う。余分なことになるが、私はかつて県の管理主事をしており、その時に学校を見て指導する機会を多く持った。その中で、まず申し上げると、学校の教育目標が、いかに子どもたちに浸透しているのかが目安となる。2番目は、校内の清掃。冒頭に申し上げた通り、これを見ると、その学校の経営方針が分かる。本校の下足は、きちっと揃っている。細かい話だと思われるが、子どもたちのそういう生活習慣が、その学校でどうできているか、これも管理主事の観点の1つである。それから、トイレの清掃。これがどうなっているのか。また、もっと大きなのは、校庭や何かの運動用具、あるいは教室内もそうだが、

これに瑕疵があるか。瑕疵を生ずるような具合になっているか。例えば鉄棒の下が腐っているのか、あるいはまだ大丈夫なのか、その辺を見るのが1つの観点であった。それからもう1つ、職員の出勤状況がきちんとされているかというかも1つの観点であった。多く申し上げたが、校内全体の雰囲気を見ると、その学校の経営方針がわかるということで、玄関から入った瞬間、この学校はこういう学校なのだという雰囲気が分かる。本校も小学校も、大変整えられている。先生方が子どもたちに、非常に優しく声がけされている姿が多く見られる。大変ありがたいことだと思っている。最後に教室をまわり、教師の指導力という点については、質問している内容に正対しているかが観点である。今お話を聞きながら、挨拶方々、学校経営の方針について、本校あるいは小学校が大変よくやっている。最後に、皆さんの努力に敬意を表す。